

議会報告会報告書

開催日時	平成26年7月23日（水）午後7時 終了：午後8時30分	
開催場所	白山市民交流センター 4階 研修室AB	
対象団体	白山商工会議所青年部・女性会、JA松任青年部	
参加人数	28人	
班構成	B班	安実 隆直、小川 義昭、村本 一則、吉田 郁夫、 清水 芳文、藤田 政樹、西川 寿夫
役割分担	リーダー：藤田 政樹、司会：吉田 郁夫 報告：平成26年度当初予算－村本 一則、定例会会議の概要－小川 義昭 総務－西川 寿夫、文福－清水 芳文、産建－安実 隆直 記録－安実 隆直	
報告内容	平成26年度当初予算、定例会会議	
<p>(質疑応答)</p> <p>(質問1) 議会報告会のほかに、市民の生の声を吸い上げる取り組みは行っているのか。</p> <p>(答 弁) 各議員が個別に報告会等を行っている。また、議会としては3常任委員会が所管する団体と意見交換会を行っている。なお、今年度の議会報告会は各地域の町内会長会などから依頼があれば開催を予定しており、すでにいくつか申し込みがある。</p> <p>(質問2) どのような税金があって、どのように使われているのか。また、合併特例債は10年で終わると聞いており、今後さまざまな事業を行うことが難しくなると懸念をしているが、その辺の対策は。</p> <p>(答 弁) 個人市民税、法人税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税などがあり、合計すると約158億円になる。市職員と議員の人件費で71億円、社会保障などの扶助費に86億円で、合計すると市税と同じくらいになる。その他に国からの交付税などがないと全体の事業は実施できない。合併特例債については、学校やJR松任駅など整備しており、残りの合併特例債も有効に使うように議会でも審議をしていきたい。来年度より国からの交付税が段階的に41億円縮減されるが、合併した自治体は統廃合により、庁舎の取り壊しなどで費用がかかることから、国からは交付税の減額分が圧縮される見込みで、白山市にとっては少し有利な状況になった。41億円減額を想定して、支所の統廃合や人件費などの経費の削減を行っていたが、減額分が圧縮されるので何とか財政が維持できるのではないかと思っている。</p>		

(質問3) 来年10月に、全国商工会女性会が新幹線開業に合わせて石川県で初めて開催される。全国から3,000人ほど集まるが、ほとんどが金沢で会議をした後に能登や加賀に行くと思う。何とか白山市にも足を運んでほしいと考えているが、JR松任駅には観光案内所のようなものがなく、観光スポットや食事場所などがわからない。また、市民工房うるわしや俳句館などの駅前できざまなイベントが開催されているが、県外からの誘客に対して商工会議所としても活気あるものを工夫して考えていきたい。

(答 弁) JR松任駅前の広場で、昨年からマルシェ・ドウ・ハクサンなどのイベントに取り組んでいる。また、新幹線開業PR戦略では、鶴来駅に観光案内所を設置する予定になっている。しかしJR松任駅には観光案内所がないので、これまでも案内所を設置するように一般質問が出ている。来春の北陸新幹線金沢開業を控え、JR松任駅に来たときに観光地やジオポイントへの誘導など二次交通の問題がある。議会では観光交通対策特別委員会を設置して、しっかりとチェックをしながら取り組んでいる状況である。

来年3月に全国発酵食品サミットが予定されている。昨年、滋賀県高島市で開催したときには15,000人の来場者があった。白山市は石川県内でもほとんどの醸造品が揃っており、大いにPRできる。また、全国に誇れる白山比咩神社があり、横の金劔宮に参拝すれば宝くじの当選や、家業の発展など御利益をいただける方が多い。その辺もPRしていただきたい。

(質問4) 市内の若者に結婚後の居住地を聞くと、金沢市、野々市市、川北町などが多く、白山市と答える人が少ない。白山ろく地域などでは過疎化が進んでいる状況を踏まえ、若者が家屋を建築するときには補助金を支給するなどを行い、若者や女性が住みやすい施策などを実施してほしい。

(答 弁) 2040年に人口が1億人を切り、子供が生まれなくなる限りは人口が減っていく現状がある。商工業はもとより自治体も成り立たなくなる人口減少問題があり、定例会6月会議では複数の議員から一般質問があった。議会では県内の市議会ですべて定住空き家対策特別委員会を設置して検討をしている。現在、能美市からかほく市の間で人口が減少しているのは白山市だけであり、議会、執行部、市民と一緒に考えていきたい。

(質問5) 白山市には白山総合車両所と金沢総合車両所松任本所があるのに、どうして鉄道のまちとして、もっとアピールしないのか。このようなビッグチャンスを生かさないとな多くの集客は難しい。車両所が共同して多数集客するイベントを開催してほしい。

(答 弁)

JR金沢駅の県観光案内所には白山市のポスターはない。それだけ一般の方や旅行会社に白山市の魅力が発信できていない残念な状況である。観光ボランティアを含めてプランニングをして、どのように誘客を導いていくか、今後考えなければならない。複数の議員から、新幹線の白山総合車両所と在来線の金沢総合車両所松任本所を生かした鉄道のまちとしての大きなイベントを提案しており、今後も検討していきたい。

(質問6) 最近、子供が連れ去られる事件があったが、地域の協力があって早期解決ができた。地域で子供を見守るなど安心安全なまちづくりを期待したい。

(答 弁) それぞれの所管の常任委員会で審議して、執行部に伝えていきたい。

(質問7) 北陸新幹線（仮称）白山駅について、経済波及効果年間26億円、税収効果約2億円になる算出根拠や内訳を教えてください。

(答 弁) 市がコンサルタント会社に依頼し、白山駅を建設されたことを想定して利用者数や経済効果などを算出した。敦賀開業時に白山駅ができなくても飛行機や自動車から新幹線に転換利用する方が約4,300人。白山駅開業に伴う新たに利用する転換者数は約2,400人と見込んでいる。なお、白山市、能美市、野々市市、川北町の3市1町から新幹線を利用する方が約3,800人、県外から3市1町に来る方が約2,900人となっている。次に経済波及効果は、商業・宿泊業等の個人サービスや交通費や資材・原材料の他産業への波及効果などで年間約26億円、その利益に基づく税収効果が約2億円と報告がありました。白山駅利用者推計は約6,700人というのは、大きな数字にも思われるが、取り組み方によっては十分に可能な数字だと考える。

備 考	
-----	--